

## 2-3 教育政策室

### I 主な事業・施策

#### 1 やり抜く力を育む教育を推進する～確かな学力と生徒指導の充実を図る～

##### (1) 確かな学力の育成

###### ① 楽しく、わかり、のばす授業の充実

- ・主体的・対話的で深い学び(以下「アクティブ・ラーニング」)による授業改善の推進
- ・産官学民の知のリソースを活用した取組の積極的な推進
- ・CoREF(東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構)と連携した協調学習の推進
- ・新しい学びの成果発表の場としての戸田市プレゼンテーション大会の実施
- ・ICTの効果的な利活用やICTの授業支援スタッフの設置による指導の充実
- ・リーディング・スキルを育成する指導方法の検討と導入
- ・各種学力・学習状況調査等の分析を踏まえたエビデンスに基づく授業及び教員研修の改善

###### 新規事業

- ・「戸田市版アクティブ・ラーニンググループリック」を活用した授業改善

###### ② 学習意欲の向上と学習習慣の確立

- ・非認知能力(やり抜く力、自制心、協調性等)を育むための「非認知能力育成プログラム」の実施
- ・「戸田市版小中一貫家庭学習の手引き」の作成及び家庭学習を支援する「ICT学習システム」の活用
- ・「とだっ子5つの見直し」及び「家庭教育宣言」の取組の推進
- ・家庭学習の習慣化を図るタブレット等の活用の試行

###### ③ 学習機会の確保と学習支援

- ・民間の学習塾と連携した放課後や夏季休業中の学習支援
- ・アクティブ・ティーチャー及びジャンプアップ・ティーチャーによる「長期休業中や放課後の補習授業」の実施

##### (2) 豊かな心の育成

###### ① 道徳的実践力や規範意識・社会性の育成

- ・小・中学生キャリア教育の充実(小学生の職業疑似体験、市内事業所での中学生社会体験事業等)

###### 新規事業

- ・道徳教育充実のための戸田市スマイルプランの推進(いじめ根絶授業18、非認知スキルの育成)

## ②生徒指導と相談・支援体制の充実

- ・全小・中学校にスクールカウンセラーを配置。教育センターに教育相談指導員、教育心理専門員、スクールソーシャルワーカーを配置した教育相談体制の充実
- ・ゲートキーパー研修会の実施（福祉保健センターと共催）
- ・「適応指導教室」における「ソーシャルメディア」を活用した学習支援の実施
- ・「市いじめ防止基本方針」の周知徹底及びいじめ対応プログラムの実施
- ・「ゲートキーパー研修会」の実施
- ・全中学校に「さわやか相談室」を整備、すこやかサポーターを整備
- ・全中学校に生徒指導充実のための非常勤講師を配置

### 新規事業

- ・さわやか相談室、適応指導教室に、不登校児童生徒への学習・自立支援のためのピア・サポーターを配置
- ・様々な相談に対応するため、各教育相談職をコーディネートする教育相談コーディネーターを教育センターに配置

## ③情操を豊かにする教育の充実

- ・「ソーシャル・メディアを活用した作品展覧会」の試行実施
- ・「彩湖自然学習センター」を活用した自然体験授業や「みどりの学校ファーム」を通じた生産活動体験の実施
- ・「小学校音楽鑑賞会」、「小・中学校音楽会」の実施及び「市内児童生徒作品展覧会」の開催
- ・特別支援学級等と通常学級とが交流する「インクルーシブ教育」の充実

## (3) 健やかな体の育成

### ①健康教育、食育、学校安全の推進

- ・「薬物乱用防止教室」や「ネットトラブル等の防止教室」の対応研修会の実施
- ・関係機関と連携した「交通安全教室、避難訓練、防犯教室、CAP プログラム等の体験的訓練」の実施
- ・各学校における栄養教諭、学校栄養職員等の「専門性を活かした食育授業」の推進
- ・学校、地域、PTA と連携した「子どもの安全を守るための活動」の推進

### 新規事業

- ・情報モラルに関する啓発としてホームページ上の情報モラル学習サイトの改定

## ②健康づくり・体力向上の推進

- ・大学の体育会で活躍している学生が指導する「スポーツふれあい体験事業」の実施
- ・「体力向上チャレンジ事業」の実施（とびばこ、マット教室）
- ・プロ野球チーム、女子プロ野球チームによる体育指導

### 新規事業

- ・適正な部活動の在り方の方針策定と周知徹底

## (4) 国際社会で活躍できる人材の育成

### ①能動的に課題を見つけ対応する力の育成

- ・全小・中学校 ALT 常駐配置による小学校低学年からの英語教育の推進
- ・英検 3 級取得推進（全中学校 3 年生に検定料を補助、英検準 2 級までの受験を対象）
- ・小学校におけるモジュール英語授業（15 分間授業）の実施
- ・小・中学校に整備した ICT 機器等を活用した授業の推進及び「最先端機器等の積極的な試用」
- ・持続可能な開発のための教育(ESD)の推進(戸田市学校版環境 ISO、エコライフデー)

### 新規事業

- ・小学校における英語教育推進のために学校版英検 Jr.GOLD 受験助成（全小学校 6 年生に検定料を補助）

### ②国際社会で活かせるコミュニケーション力の育成

- ・教員の英語指導力向上研修
- ・「CAN-DO リスト」を活用した英語授業の実施

### 新規事業

- ・日本語指導担当教員の配置による日本語指導体制の充実

## 2 よりよい教育環境を整備する～産官学民及び家庭・地域と連携～

### (5) 新しい学びの創造

#### ①民間の教育力の活用

- ・夏季休業日を中心とした新しい学びを促す指導力向上研修の実施
- ・戸田市 PEER カリキュラムの研究（プログラミング教育、英語教育、経済教育、リーディング・スキル等）

### 新規事業

- ・セサミストリートカリキュラム（セサミワークショップ）の実施

## ②学習支援器材の充実

- ・小・中学校に整備した ICT 機器等を活用した積極的な授業の推進

## (6) 教員の資質向上・支援

### ①教員の指導力の向上

- ・管理職のためのカリキュラム・マネジメント研修会の実施及び学校間ピアレビューの推進
- ・「指導担当学校訪問の改善」及び研究委嘱校の校内研修の支援
- ・教育センター研究員による自主的な研修の支援
- ・産官学民と連携した「効果的な職員研修の在り方」の検討
- ・最先端の教育課題に対応した講師を招聘した「戸田市教育フェスティバル」の実施

#### 新規事業

- ・「民間の Cloud 上のコミュニケーションツール」を活用した学習指導案等の共有化の導入・推進

### ②教員が児童生徒と向き合える体制づくり

- ・「文書処理事務の負担軽減」を図る取組や「動画等を活用した移動を伴わない研修会」の試行
- ・校務の情報化を図るためのシステムの整備・充実

### ③保護者・地域からの信頼の醸成

- ・Facebook、「教育広報とだ」、「ふれあい戸田」等の情報メディアを通じた市民への積極的な広報の推進
- ・「戸田市学校応援団実行委員会」の活動支援及びコーディネーター研修会の実施
- ・特色ある教育活動等の積極的な公開を推進する「学校公開」の実施

#### 新規事業

- ・「社会に開かれた教育課程」を実現するための「全学校コミュニティ・スクール」の本格実施

## (7) 特別支援教育の充実

### ①特別支援教育の充実

- ・プログラミング教育や AR 動画を活用した魅力ある授業の実施
- ・特別支援教育に関する研修の充実
- ・通常学級支援籍等の交流及び共同学習の推進

#### 新規事業

- ・ 美女木小に特別支援学級（自閉症・情緒）1学級、美笹中に特別支援学級（自閉症・情緒）1学級を新設
- ・ 新曾小から美女木小に通級指導教室（難聴・言語）1学級を移設
- ・ 特別支援学級設置全小・中学校へ児童生徒用タブレットを導入
- ・ 就学相談体制や早期からの就学支援の充実を図る「心の教育アドバイザー」を教育センターに配置

#### ②相談・支援体制の強化

- ・ 発達障害に係る小児専門医による医療相談
- ・ 就学に係る説明会・個別相談会の実施
- ・ 5歳児検診からの早期発見・支援の実施

#### 新規事業

- ・ 民間企業と連携した各学校への訪問支援事業の実施

## II 特徴的な事業・施策

### 1 リーディングスキルの共同研究

リーディングスキルテスト（RST）とは、AI 時代にも求められる汎用的な基礎的読解力＝リーディングスキル（RS）を測るためのテストで、文章や情報を正確に読み解き対話する力は今後一層重要となります。

戸田市では『すべての生徒が中学校卒業段階で教科書を正しく読むことができるようにする』という目標を設定し、とだっ子の更なる学力向上を目指しています。

主体的・対話的で深い学び（いわゆるアクティブ・ラーニング）の視点とともに、RS 向上の視点からの授業改善を推進し、目指すべき児童生徒像の実現を目指します。



#### (1) RSTの結果の活用

正答率の高い児童生徒の日々の学習態度等から、RS を高めるきっかけを明らかにしていきます。正答率が低い児童生徒に対しては、日頃の授業で、正しく文章を解釈できるような個に応じた支援を心掛けることも有効と考えられます。

#### (2) RSTを活用した授業改善

昨年度の RST の結果を振り返り、子供たちが、『不得意としている能力』を把握するとともに、授業のユニバーサルデザイン化からの視点から『読めていない子への支援』を計画します。

### 2 新しい学びの創造

#### (1) 経済教育

経済教育とは、環境がどのように変化しようとも、取るべき行動や進むべき進路について最適な選択をするための学びであります。本プログラムにおいて、「選択」や「意志決定」が求められる学習機会を与えることにより、「考える習慣」と「質の高い選択ができる力」を育み、AI では代替できない能力の一つである「21世紀型スキル」を育成します。

#### (2) セサミストリートカリキュラム

セサミストリートカリキュラムでは、子供たちが社会において自らの選択の機会を持つ中で、他の人たちと協力し、よりよい社会を作っていくために必要名資質・能力を育成していくことを目的としています。カリキュラムは、金融教育、キャリア教育、多様性の理解などで編成されています。1年生から6年生までセサミストリートカリキュラムを通して、問題解決力、コミュニケーションスキル等の21世紀型スキル、やり抜く力、協調性、自制心等の非認知スキルを育みます。